

平成28年度 第1回八尾市産業振興会議 議事概要

日 時	平成28年7月27日(水) 14時00分～16時00分
場 所	八尾商工会議所会館 3階 中会議室
出席者	<p>&lt;委員&gt; 乾委員、今井委員、樫本委員、勝浦委員、加藤委員、川江委員、進藤委員、滝本委員、寺西委員、長尾委員、藤原委員、文能委員、細川委員、山田委員、山本委員          ※五十音順 計15名</p> <p>&lt;事務局&gt; 植島部長、福井課長、津田参事兼室長、徳光課長補佐、主井課長補佐、倉橋係長、後藤係長、藤原係長、中西副主査 計9名</p> <p>&lt;オブザーバー&gt; 八尾商工会議所中小企業相談所 川野所長代理 計1名 総計25名</p>

－事務局による司会で次第に沿って進行－

1. 開 会

配布資料を事務局より確認

2. 委嘱状交付

委員を代表して、乾委員に市長から委嘱状を交付。

3. 市長あいさつ

4. 委員紹介及び事務局紹介

全19名の委員のうち、当日出席した委員15名の紹介。ならびに事務局の紹介。

事務局より、八尾市産業振興会議委員19名のうち欠席者は4名で、八尾市産業振興会議規則第3条に規定する過半数の委員の出席により、本日の会議が成立している旨の報告。

5. 座長選任、副座長指名

八尾市産業振興会議規則第2条に基づき、事務局から提案があった文能委員を座長として選任するとともに、座長の文能委員より滝本委員を副座長に指名。両委員よりあいさつ。

6. 議 事

－文能座長による議事進行－

(1) 産業振興会議の仕組みと本年度の進め方について

事務局より、資料1～5に沿って、八尾市の産業振興、市の施策展開方針、八尾市人口ビジョン・総合戦略、平成28・29年度の産業振興会議について説明。

座 長：冒頭の市長のあいさつにもあったように、「まちは人」をテーマとする八尾市の考え方に従って、八尾を魅力的なまちにできるような施策提案がこの産業振興会議に期待されている。平成26・27年度の産業振興会議において、現在八尾が直面している問題として、人口減少にともなう市場縮小や経済構造の変化などの課題を共有した。大きな環境変化に対応するため、どのような産業振興施策を行っていけばよいのか、産業振興のあり方について議論していきたい。また、地方

創生に向けた取り組みの「八尾市人口ビジョン」「八尾市総合戦略」について更に理解を深めたい。

## (2) 国の産業振興に向けた課題と取り組みについて

細川委員より資料6について説明。続いて質疑応答。

委員：人工知能を備えたロボットを活用して事業を進めたいと思っているが、調べてみると多額の費用が発生することがわかった。この面をサポートする施策があれば、中小企業は人工知能を備えたロボットを導入しやすい。また、昨年度の産業振興会議後にさまざまな業種の事業者を集めてローカルイノベーションに向けた取り組みを始めているが、皆が参画できるテーマを一つに絞れない。

委員：テーマ設定を地域で検討するのは工夫が必要。堺市では地域製品の海外進出のため、刃物だけに絞るのが難しいので、対象を他の製品にも広げ、堺産品として地域ぐるみのテーマ設定を考えたという事例がある。

座長：これからもそういったご経験やノウハウ、事例研究の結果をご紹介いただきたい。

## (3) 大阪府の産業振興に向けた課題と取り組みについて

進藤委員より資料7について説明。

## (4) 八尾市の産業振興に向けた課題と取り組みについて

事務局より資料8、9-1、9-2について説明。

普段の問題意識について、委員の間での意見交換を行った。

座長：普段感じていること、皆様を取り巻く環境の変化や、産業振興に向けて必要な取り組み等について、皆様から意見を頂戴したい。

委員：当社は、八尾市の地場産業である歯ブラシの製造を行っている。これまでは大手企業の下請けが多かったが、大手企業の設備投資の結果、下請けの仕事が減ってきているため、自社ブランドを立ち上げて、歯科医向けの商品開発を行っている。これまでは卸問屋を介してスーパーやドラッグストア向けの販売が多かったが、ここ10年くらい前から取引先が変わり、最近は大手中通販会社への直接販売の販路が拡大しており、商品開発に力を入れている。

座長：5年後の貴社はどうなっていると予想しているのか。

委員：人口減少の中で、歯ブラシの消費量が減少するのは確実なので、海外販路に目を向けている。また、啓発活動を行って国内消費量（一人当たり年間4.5本）を年間12本になるような取り組みを進めたい。

委員：当社は工具の卸売業。定期的に新規採用を行っているがどう人材を確保するかが課題。地域の高校生を採用したいが、彼らは大学へ進学してしまったり、市外で就職してしまったりするのが悩み。八尾市内には数多くの企業が存在するが、今後は廃業が増えるだろうと感じているので、この問題をどうしていくか。

委員：消費者の立場から商業を考えると、ネット通販が増えるなど、我々が買い物に行く形態が変化している。少子高齢化が進む中で、ネットを使いこなせない高齢者は買い物難民として孤立してしまう懸念がある。地方ではトラックに多数の商品を積んでその地域に販売に行くビジネスが増えているなど、昔からあるビジネス手法が復活していると感じる。

委員：商店街の視点から話をさせていただくと、ここ数年空き店舗の増加が目立つ。自分の地域では、店舗が廃業後、住宅化してしまうことが増えており、これから更に増加すると思われる。自分の

商店街だけでなく、地域の課題として取り組んでいかねばいけない。

委員：個人で花屋を経営している。女性が働く上で子どもの保育所問題もあるが、介護問題も重要。子どもは生まれて3年たてば保育所に入れるとわかっているが、介護は先がわからない。八尾で住み続けたいと思うにあたり、高齢化は大きな問題。また、若い人達が八尾を良くしようと思って、個々に色んなグループを立ち上げている。河内山本駅周辺で先日、フェイスブックを通じて八尾市の経営者40名ほどが集まった。八尾の将来のことと、自分たちのネットワークについて。八尾市とともに自分たちも発展していこうという前向きな話し合いがされた。そういった方々と自分とが横のつながりを作り出していきたい。

委員：行政の立場から考える一番深刻な問題は「人材不足」。人材が足りない職種がある。人材が大手企業や事務職志向になっており、中小企業の求人に人が集まらない。産業人材をいかに地域で育成するかが課題。女性や高齢者で働くことができる人材の雇用などの施策が必要。

委員：市場は市内に4か所ある。スーパー形式がほとんどだが、頑張っって継続していきたい。大手スーパー等が宅配事業展開を行っているが、我々のような小規模の市場では、コストと人員面が課題で、大手のようなきめこまやかなサービスの宅配事業は難しい。今後市場はどのような形で展開していくかが課題。この会議に参加して横のつながりを広げて情報を得て、自分たちができる事業を考えていきたい。

委員：八尾のお店の販促チラシをどこでいただけるのかなど、情報の取り方がわからないという声をよく聞く。また、外食時に、注文などのシステムがデジタル化しており、それに対応できないという意見も聞いている。自動車がないと買い物にいけないので高齢になっても運転しないといけない。その結果、市内が渋滞している。情報が皆に行き渡るような施策をお願いしたい。

委員：環境の変化はこれからますます進んでいく。電気自動車の普及などにより、八尾市のものづくりに影響がある。八尾市ではエンジンを製造している企業が多いので、仕事が激減することが予想される。一方で大きく成長するであろう産業を見据えていきたい。そのためには先ほどの資料8にあった「自立」「自律」が重要である。大卒の新卒採用に力を入れているが、学生は大企業に就職が決まってしまうことが多く、学生に魅力を感じてもらえる企業づくりが必要。また、女性や若者も採用できる体制をつくっていきたい。「にぎわいのあるまちづくり」に向けて、工業、商業、障がい者施設、学生によるネットワークづくりにも取り組みたい。次の事業を立ち上げないといけない。

委員：産業振興の成果を出すには時間がかかる。時間をかけて持続的に取り組むには行政だけでなく多くの人々が関わるのが重要。また、これらの関わる人々がどれだけ問題意識と危機感を持ち共有出来るかが大事。業種を越えて共有できるテーマ設定があると良い。

委員：当社はインターネット通信販売業を行っている。商品を仕入れてネットページに掲載、販売している。この業界のスピードは速い。当社でもインターネット通信販売業の販売網を活用しながら、自ら何かをつくりださないといけないというところに追い込まれている。当社のような独立系企業が2、3億と売上を上げてしまうと、すぐに大手に参入されて業界自体が終わってしまう。現状ある様々な施策を参考にさせていただきたい。

委員：これまで信用金庫は地域で商売をしてきたが、現在では地域にある企業の子会社など、数か国の企業に融資している。一方で、金融とIT（スマートフォン）を活用した取り組みも始まっている。金融機関にとっても地域の活性化は必須である。

副座長：皆様からの意見をいただいて、問題を共有できた。「販路」、「販促」などが意見として挙げられた。その他、「業種を越える」というヒントもいただいた。商業と工業の橋渡し。この場では、消費者の意見を取り入れて話し合える。皆様の知恵や悩みを共有しながら新たな問題点と解決策を探っ

ていく契機となればと思う。分野を分けずに話し合うことで、何かを生み出していきたい。

座長：皆さんが現在抱えている問題や取り組んでいることについてお話しください。この産業振興会議の場で問題解決ができたらと思う。現状認識を共有して、5年先の八尾がどんなまちになると良いか、それぞれのノウハウや知恵を出し合いながら議論していきたい。

(5) その他報告事項

7. 経済環境部長あいさつ

8. 閉会

以上